

# 災害時用品650人分常備

## セントヨゼフ女子学園中高 障害者ら箱詰め

津市半田のセントヨゼフ女子学園中学校・高校は九日、県内の障害者らが災害時に必要な非常食や生活用品を「白い小箱」を、全校生徒と職員六百五十人分導入した。「白い小箱」は、一般社団法人日本非常食推進機構(四日市市浮橋)が販売している。



「白い小箱」をセントヨゼフ女子学園の倉庫に運ぶ「ふらっと・つう」の関係者  
◎津市のセントヨゼフ女子学園

「白い小箱」の組み立てや箱詰め、納品を障害者に共感し、導入することにした。一箱千三百二十円(税別)で、生徒の分は保護者が購入した。食料のほか簡易トイレや除菌おしぼりも入っている。学園に納入した小箱の箱詰めや納品は今回、就労移行支援事業所「ふら

てや箱詰め、納品を障害者に共感し、導入することにした。一箱千三百二十円(税別)で、生徒の分は保護者が購入した。食料のほか簡易トイレや除菌おしぼりも入っている。学園に納入した小箱の箱詰めや納品は今回、就労移行支援事業所「ふらとつう」(津市海岸町)が担当した。セントヨゼフ女子学園の小菅真司教頭(四)は「生徒や保護者の不安を少しは解消できると思う。これからも防災教育に力を入れたい」と話していた。(堀内敦子)